

団体名 一般社団法人 あのね

事業名 こどもの居場所「あのねくらぶ」

事業概要

- ひとり親家庭の子ども等を対象として、食事や学習支援、遊びの場を提供する。
- ひとり親家庭へ食料等の無償配布を行う。
- 子ども食堂の調理場所として活用する。

解決すべき地域の課題

- 子ども会や地域のスポーツ活動の廃止が相次ぎ、地域としての子どもの見守りや育成サポート、または保護者も含めた住民同士の交流の機会が減少している。
- 経済的に困窮する家庭やひとり親家庭が孤立し、家庭環境の悪化につながってしまう前に、気軽に相談できる場所を作る必要がある。

活動状況

«あのねくらぶ»

- 平日（不定期）15時～18時
- 土日（不定期）10時～14時
- 参加費：無料
- ひとり親家庭などの子どもたちを対象とした、子どもの居場所活動を実施。
- 子どもと一緒に買い物、料理、片付けまで行う食事会と、宿題や個別の学習課題についての指導及び学習支援を実施。
- 自由に読書をしたり、おもちゃやテーブルゲームで遊べるスペースを提供する。遠足の実施。



«あるのん»

- ひとり親家庭を中心とする60世帯以上に、食品や衛生用品、文具などを無償配布。個別の相談支援の実施。

«その他»

- 『高殿こども食堂あのね』の調理場として活用。



【活動の様子】

活動に参加している利用者の状況（市営住宅の住民および近隣住民）

- 市営住宅がある校区を中心に、近隣のひとり親家庭等の小中学生が利用している。

住戸の活用状況

- 住戸内の改修は行わず、畳の上にはフローリングシート敷いて、部屋の仕切りのふすまを取り外して、行き来しやすくしている。
- ドアに団体のロゴを張り出して利用者にわかりやすくしている。
- 6帖の和室（2ヵ所）は遊びの場と食事の場、4.5帖の和室は食料倉庫として生活空間を分け、日常生活をイメージしやすくし、安心してくつろげる場を提供している。



「市営住宅のコミュニティ活性化事業」の利用による変化

- こどもの居場所活動「あのねくらぶ」では、スペースに余裕ができたため、遊んだり、休息したり、勉強をしたりといった、子どもたちがそれぞれしたいことを同時にしても過ごしやすくなった。
- 「高殿こども食堂あのね」を開催する憩いの家まで非常に近いため、準備が各段にしやすくなった。
- 住民の方と挨拶をして交流する機会があり、地域密着での活動を実感できる。
- 地域の住民がボランティアスタッフにも多いため、スムーズに活動の認知を広げることができた。

活動団地の場所

【団地名】 高殿西住宅 1号館 110号室



【所在地】 旭区高殿3丁目32番1号

